

第3回 JGJAゴルフミーティング

**中学部活の地域移行が開く可能性
～スポーツ庁と考える次世代ゴルファー育成モデル～**

**【テーマ】
ゴルフ部の創部や
授業にゴルフを取り入れることができないか？**

2026年4月24日

主催
日本ゴルフジャーナリスト協会

本日の流れ

【第1部】 講演 18:00～18:40

講演①「スポーツ実施率調査の最新動向とゴルフの位置づけ」

スポーツ庁健康スポーツ課 中山正剛氏

講演②「持続可能な次世代ゴルファー育成モデルの構築」

兵庫県立赤穂高等学校 特別非常勤講師

スマイルゴルフスクール代表 小原高幸氏（JGJA会員）

【第2部】 意見交換会 18:40～19:30

18:40～19:25 全員参加で意見交換会（45分）

19:25～19:30 まとめ・事務局より



テーマに関するご意見Ⅰ (全9件)

- ①各地域の**地区センターでの講習会**なども検討して欲しいです。
- ②**場所とお金と指導者**が必要不可欠だと考えます。
- ③企業による**出前授業**でゴルフを題材にした授業を提供する。
- ④ゴルフの授業というと体育を思い浮かべますが、主体性や自律の精神、協調性、相手ファーストといったゴルフの特性を活用すれば、**道徳や総合教育、もしくは探求学習**（2022年に高校で本格スタートした学習法）の題材に十分活用できると思います。これらの科目の場合、ゴルフ場や練習場でなく**教室で出来る**のでメリットは大きいです。
- ⑤娘が高校からゴルフ部のない高校に入学し、個人エントリーで高校生学生連盟の大会に出場していました。ゴルフを通じて**ルールを教えるのか、マナーまで教えるのか**、他のスポーツとの違いを教えることは、**社会生活のルールを守る**ためにも、必要だと思います。
- ⑥「ゴルフ部の創部」や「授業にゴルフを取り入れること」は、ゴルフの普及につながるかもしれないが、それが子どもたちの健全な心身の育成につながるかどうかは、**指導する人の資質や環境**によるところが大きいと思う。

テーマに関するご意見Ⅱ (全9件)

⑦ゴルフを題材にした総合教育や探求学習の講師は、プロゴルファーやインストラクターではなく、ゴルフ好きな**高齢者（特に会社経営・役員経験者など）のセカンドキャリアとして活用**すると良いと思います。

⑧実現には「場」（練習場・コース）＋「ソフト」が不可欠です。その意味では地方自治体・教育機関へのアプローチのレヴァレッジとして、**First Tee Japan**のコンセプトはゴルフの最大の魅力である「**人格形成**」の点から彼らとの協業を検討すべきではないでしょうか。

⑨株式会社ダーツライブというダーツ用品の販売をしている会社が、「スポーツダーツプロジェクト」と銘打ってダーツ部創部の活動をされています。ダーツ部創部の障壁を尋ねたところ「指導者不足」で、その解決策として「プロを斡旋している」とのことでした。このような**他スポーツの事例**は参考になりますので、**異業種から学ぶ姿勢**がゴルフ業界にも必要だと感じています。

振り返りフォームご協力のお願い

本日はご参加いただき、誠にありがとうございました。
今回の内容を今後に活かすため、
下記「振り返りフォーム」にご協力をお願いいたします。

▽振り返りフォームはこちら▽

<https://forms.gle/uufAPkBtFNax2XsG7>

